

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	津波により流され主要道路を塞いだ車両を路肩に除去した後、資機材の撤収中に発生した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	道路の通行障害になっていた大型トラックを震災工作車のリアウインチを使用し、路肩に除去。その際に大型トラックを牽引するために、前輪部分に玉掛けワイヤーを使用する。活動終了後、玉掛けワイヤーを車体から取り除こうとした際、車体と地面の間が狭隘であったため重機(消防機関の保有ではなく、他機関による保有であり、他機関のオペレーターにより操作されているもの)により大型トラックのフロント部分を繊維スリングを用いて持ち上げる。その後、隊員1名が車体の下に入りワイヤーを取り除こうとした時、重機のオペレーターが何らかの原因で重機を動かしたため、大型トラックが揺れ、隊員1名が車体と地面との下敷きになる危険があったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	重機のオペレーターに対する作業内容の説明が十分に伝わっていなかったこと。又、消防隊員を1人オペレーター役として配置していなかったこと。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年3月15日 午前9時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：主要道路上
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	(機器等)巻き込まれ、はさまれ
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害撤収、〔 〕
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：津波災害
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

重機の操作員に対する、活動内容の説明不足。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

